



三重県電気工事業工業組合
三重県電気工事協力会
発行人 繁田 劭
編集責任 広報委員会

おもな内容

- 通常総代会、
定時総会開催… 1
- 晴れの表彰者 … 2
- 会員異動のお知らせ… 3
- 県下の電源立地動向 … 4~5
- 本部のうごき … 6
- 「共、保」契約推進結果 … 6
- 電気工事業の登録手数料
などの改正 … 6
- 56年度電気工事士筆記試
験結果 … 6
- 地区だより … 7
- 創立記念特集号にご協力を!! … 8

一五四名の多数が出席

記念大会の開催など承認

通常総代会 定時総会開催

晴天に恵まれた五月二十日、松阪市駅前に新装なつた「ホテル・サンルート松阪」の大会議室において、工業組合、第16回通常総代会ならびに協力会、第36回定時総会を開き、五十六年度事業計画、特に本年度は工業組合15周年、協力会35周年を迎えるにあたり、今秋記念大会の開催計画などが承認された。

勢を振り返って見るとき、公共投資は大型国家事業に片寄り国内需要の喚起には効果が見られず、一方建設業ならびに設備業も不況業種に指定されるという、戦後初めてのことであった。われわれ電気工事業界が最も期待した住宅産業も減少しており、業界では前年度に増して厳しい状況で推移した。

このような厳しい経済情勢の中で組合においては、特に共同保守管理業務の推進に力を注ぎ、保守技術員の更新講習、契約推進強調年間の設定などを実施して参りましたが、特に四日市地区では役員の方々のご努力により公共建物等の一括契約を推進された事など、特筆すべきことであります。

その他各委員会を中心とする活動については各委員業では、諸規程、規約、要

会事業報告で詳細報告されますが、昨年度の主要な事業では、諸規程、規約、要則などの整備、制定作業をすすめ去る十二月臨時総代会において承認され、組合運営の充実を図った……
福祉関連事業としての、第三者賠償保険制度の見直し整備、従業員のための退職金共済制度への加入促進災害共済の充実など……
技術関係では安全作業推進のためのポスター作成配布、安全工具のあっせん、技能オリンピック大会への参加等……
また会報の年四回発行と内容の充実、会報表紙の配布、全国電気設備安全運動への全組合員の参加協力、さらに昨年度は登録更新手続きが各地区で集中的に実施され、これらに対する事務局の強化対策など幅広く事業推進を図って参りました。

午前中は工業組合総代会で、総代九十名中、七十七名(内委任出席一五名)が出席、松阪支部、青山理事の司会によって定刻開会、まず繁田理事長から

「55年度事業実施については、各役員はじめ組合員各位の絶大な協力による多大の成果に対し謝意を表するとともに昨年度の経済情

特になかで、時代に対応する組合事業の推進を図るため、一層の組織力強化と団結を強固にし積極的なご協力を特にお願いたします」とあいさつ。
このあと角谷松阪支部長を議長に選び議案審議に入った。

「55年度事業実施については、各役員はじめ組合員各位の絶大な協力による多大の成果に対し謝意を表するとともに昨年度の経済情

勢を振り返って見るとき、公共投資は大型国家事業に片寄り国内需要の喚起には効果が見られず、一方建設業ならびに設備業も不況業種に指定されるという、戦後初めてのことであった。われわれ電気工事業界が最も期待した住宅産業も減少しており、業界では前年度に増して厳しい状況で推移した。

また会報の年四回発行と内容の充実、会報表紙の配布、全国電気設備安全運動への全組合員の参加協力、さらに昨年度は登録更新手続きが各地区で集中的に実施され、これらに対する事務局の強化対策など幅広く事業推進を図って参りました。
本年は工業組合創立15周年を迎えるので記念大会を十月頃実施の予定であり、本年度も厳しい情勢が続く

(2ページ上段へ続く)



総会における会長あいさつ

小川電工
上村電気商会

56年度総会における
晴れの表彰者

- 1、安全推進優良工事店 (13店)
- (協力は) 安全推進協議会
 - 津支店 青木電業社
 - 川合電業社
 - 小竹電業社
 - 工電部
 - 松阪支店 尾鷲地区
 - 鳥羽地区
 - 四日市地区
 - 桑名地区
 - 鈴鹿地区

2、優良工事店 (9地区)

○(協力会賞)

- 津地区
- 松阪地区
- 大台地区
- 尾鷲地区
- 鳥羽地区
- 鶴方地区
- 四日市地区
- 桑名地区
- 鈴鹿地区

3、優良工事店 (21店)

○(中部電力賞)

- 津支店 光電商会
- 浦山電機商会
- 松田電機工業所

4、優良電気工事士 (47名)

○(協力会連合会賞)

- 津支部
- 伊勢支部
- 四日市支部
- 松阪支部
- 池山電氣工業所
- 三協電工
- 式嶋電氣商会
- 世古電氣店
- 伊勢支部
- 丸天産業
- 藤電氣工業所
- 山下商会
- 四日市支部
- 四日市電機
- はやし電氣商会
- 多度電氣商会
- 小川電氣工業所
- 三扇電氣
- 十社電氣商会
- 西川電機商会
- 大野電氣工業所



調された。つづいて組合員増加による総代数の定数増加のための定款一部変更承認がありこの定数変更は変更認可申請許可後実施される予定である。

最後に関連事業報告として「政治連盟三重県支部」「共済会」事業の決算報告および計画案などの承認を受け12時30分終了。

協力会定時総会
同日午後、協力会、第36回定時総会を開催、一五四名の多数が出席され、まず協田会長のあいさつ。

特に「厳しい経済情勢の中においても、電気工事業者としては電気保安の確保と工事の安全施工が要求され、一般販売業者と違う事業であることを常に肝に銘じなければならぬ。」

このことを基本に各地区において各種の安全対策、技能向上訓練を活発に実施され、重大事故皆無ということは会員全員が良く理解されていることで誠に喜ばしいことである。

本年は協力会創立35周年を迎えるので秋には工業組合と共催で記念大会を開く

予定であり、56年度事業についてもこの輝かしい歴史をさらに発展させるため、積極的なご参加、協力をお願いしたい。……

つづいて中部電力、原津支店長代理から「中部電力も創立30周年を迎えるが日頃、会員のみならずご支援を心から感謝するとともに、事業発展の原動力である安全問題については十分意を注ぎ無災害の達成をお願いする」とあいさつ。

あと議長に角谷松坂支部長を選出議案審議に入った。

55年度事業報告、収支決

算承認のあと「56年度事業計画、収支予算案」について審議、原案どおり万場一致、承認可決された。

このあと別項のとおり、各種表彰、感謝状贈呈があり盛会裡に総会を終了した。

なお本席上去年三月三十日、電気保安功勞により通商産業大臣表彰を受賞した伊東副会長に対する祝金の贈呈を行ないその功績を称えた。

(表彰関係者は別項のとおり)

- 上野三和電氣商会
- 橋岡電機商会
- 松阪支部
- 池山電氣工業所
- 三協電工
- 式嶋電氣商会
- 世古電氣店
- 伊勢支部
- 丸天産業
- 藤電氣工業所
- 山下商会
- 四日市支部
- 四日市電機
- はやし電氣商会
- 多度電氣商会
- 小川電氣工業所
- 三扇電氣
- 十社電氣商会
- 西川電機商会
- 大野電氣工業所

- 伊藤 四郎 (阿漕電氣商 會)
- 中矢 利春 (中矢電氣商 會)
- 上島 静男 (柏植電氣工 業所)
- 赤羽根 登 (森田電氣商 會)
- 前川 利勝 (上野三和電 氣商會)
- 奥立 昭 (大成電氣商 會)
- 松阪支部
- 土屋 理且 (大淀電氣商 會)
- 中村 雅美 (中村電氣店 會)
- 北端 辰男 (青山電氣商 會)
- 白杵 巧 (柳大浦電業 會)
- 田中 高夫 (田中電氣工 事店)
- 下村 行信 (下村電業 會)
- 中谷 隆司 (中谷電氣商 會)
- 山本 拓生 (山本電工 會)
- 水谷 忠次 (水谷電氣商 會)
- 桑山 徹 (中村電氣商 會)
- 伊勢支部
- 東 幸男 (柳伊藤電氣 工業所)
- 鞆田 繁雄 (玉城電機商 會)
- 中野 裕史 (柳中野電機 工業所)
- 三上 昇 (三上電機工 業所)
- 尾崎 和也 (光和電機工 業所)
- 伊藤 四郎 (阿漕電氣商 會)
- 中矢 利春 (中矢電氣商 會)
- 上島 静男 (柏植電氣工 業所)
- 赤羽根 登 (森田電氣商 會)
- 前川 利勝 (上野三和電 氣商會)
- 奥立 昭 (大成電氣商 會)
- 土屋 理且 (大淀電氣商 會)
- 中村 雅美 (中村電氣店 會)
- 北端 辰男 (青山電氣商 會)
- 白杵 巧 (柳大浦電業 會)
- 田中 高夫 (田中電氣工 事店)
- 下村 行信 (下村電業 會)
- 中谷 隆司 (中谷電氣商 會)
- 山本 拓生 (山本電工 會)
- 水谷 忠次 (水谷電氣商 會)
- 桑山 徹 (中村電氣商 會)
- 伊勢支部
- 東 幸男 (柳伊藤電氣 工業所)
- 鞆田 繁雄 (玉城電機商 會)
- 中野 裕史 (柳中野電機 工業所)
- 三上 昇 (三上電機工 業所)
- 尾崎 和也 (光和電機工 業所)
- 西村 茂生 (西村電氣工 事)
- 石橋 甚吉 (石橋電工 事)
- 森岡 正巳 (柳小川電氣) 豊(ニッカ電氣)
- 浦羽 徳田 義雄 (柳中西電機 商會)
- 四日市支部
- 市川 健 (小関電機工 業所)
- 清水 龍美 (勝山電機商 會)
- 西井勘一郎 (近畿電氣工 事)
- 和田 猛 (和田電氣商 會)
- 渡部 孝治 (中部三重ナ ショナル家電 販売所)
- 野呂 五男 (野呂電氣商 會)
- 梶 昭夫 (扇電氣) 清司 (近藤電氣工 業所)
- 田内 勝昭 (三栄電機工 事)
- 佐藤 孝一 (十社電氣商 會)
- 川瀬 仁嗣 (日進電機工 業所)
- 伊藤 敏輝 (柳立電氣) 憲逸 (新興電機工 業社)
- 瓜生 憲昭 (柳林電氣商 會)
- 松井 篤 (柳大森電氣 工業所)

全日電工連総会で

市川常任理事表彰をうける

5月28日、全日電工連総 員としての功績により表彰 会で、津支部、市川忠男常 任理事は永年に亘る組合役 とうございました。

会 員 異 動 の お 知 ら せ

56年3月以降の会員異動は下記のとおりです。

名簿への追記修正についてよろしくお願ひします。(事務局)

記

地区別	種別	コード 番 号	商 号	代 表 者	住 所	電 話 番 号	郵便番号	登録届出 申請番号	
松 阪 大 台	新加入	32145	伊藤電気工業	伊藤 功美	一志郡嬉野町矢下946-1	05984 3-2246	515-24	56-12-2	
	〃	32331	坂本電気	坂本 武久	度会郡度会町麻加江651	05966 4-0018	516-21	56-471	
	〃	32332	御村電気工事	御村 和良	度会郡大宮町滝原709-1	05988 6-3071	519-27	55-89	
	伊 勢	〃	33143	永井電気工事	永井 章三	度会郡玉城町佐田984	0596 24-9196	519-04	53-10
	〃	〃	33144	シモイ電気工事	下井 貢	伊勢市神社港107-33	0596 36-2639	516	55-67
鳥 羽	〃	33319	瀬崎電設	瀬崎貴八郎	鳥羽市畔蛸町	059933 -6284	517-03	55-102	
鶴 方	〃	33450	片電工事	平賀 三行	志摩郡志摩町片田557-1	05998 5-2021	517-07	55-70	
津	退 会	31023	榎原安電気商会	河合 玉夫	津市南丸之内7-28	0592 25-3535	514	51-212	
久 居	〃	31311	田端電機商会	田端 万正	一志郡一志町庄村245-1	05926 3-2017	515-25	51-230	
松 阪	〃	32112	西村電機商会	西村 一郎	松阪市伊勢寺2041	0598 58-2504	515	55-78	
伊 勢	〃	33006	坂倉電機機	坂倉 武雄	伊勢市河崎2丁目16-5	0596 24-4171	516	51-342	
〃	〃	33013	杉谷電気工業所	杉谷 勝	度会郡小俣町新出6876-1	0596 22-2752	519-05	51-345	
〃	〃	33069	中島電気工業所	中島 登	伊勢市中島1丁目13-4	0596 28-1511	516	51-368	
四日市	〃	34063	星和工業機	久次米三郎	四日市市塩浜字八幡125-1	0593 45-0503	510	(届)大臣 4648	
鈴 鹿	〃	34713	銜いなりや電機商会	杉野 政吉	鈴鹿市磯山2丁目13-14	0593 86-0246	510-02	51-611	
津	変 更	31100	共立電気商会	上原 貞憲	(新)津市城山3丁目16-9 (旧)津市中河原488	0592 27-7683	514	55-79	
〃	〃	31028	正栄電気商会	柏木 忠	(新)一志郡香良洲町新開地 5938-1 (旧)〃〃 地家2432	05929 2-3611	514-02	(届出) 53-17	
〃	〃	34030	(新) 轉 大東電気工事津営業所 (旧) 〃 津出張所	伊東 直作	(新)津市海岸町14-18 (旧)津市東丸之内4-27	0592 28-2990	514	(届出) 460047	
名 張	〃	31602	森井電気商会	森井 重一	(新)名張市下比奈知字信貴ヶ丘 2757-2 (旧)名張市下比奈地2090	05956 3-1146	518-04	51-436	
鈴 鹿	〃	34727	鈴鹿電気工業所	長谷川三郎	(新)鈴鹿市高塚町1065-14 (旧)鈴鹿市加佐登町144-1	0593 78-7828 78-0035	513	(届出) 56-17	

三 重 県 電 材 卸 商 組 合

国際電気工業(株) 大成電機産業(株) (株)扇港電機商会
 (有)日新碍子製作所 南 三 重 三重東芝電設(株)
 三重菱電機(株) ナショナル特機(株)

脱石油をめざした県下の

電源立地計画と最近の動向

中部電力津支店管内における電源開発計画は、約一千キロメートルの海岸線との立地計画がすすめられて

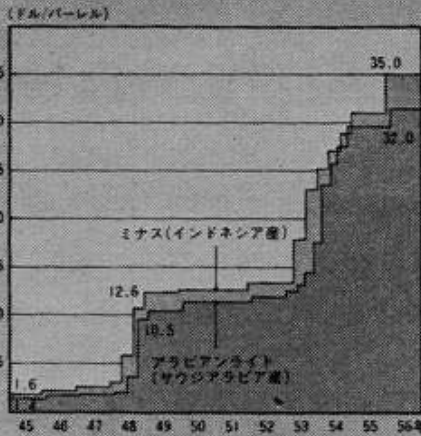
いう恵まれた立地条件などを背景に、あわせて七カ所代の中部圏の新規電源として大きな期待が寄せられて

いる。これら電源立地の主眼が「脱石油」一エネルギー源の多様化の推進にあることから、その本命である原子力の開発を積極的に進める一方、石炭火力やLNGなどのガス火力をあわせて

これ以上石油に頼りません

わずか10年前まで1バレル(159リ)あたり1~2ドルと安定していた石油価格も、いまや30ドルを大幅に上回り、長期的な石油資源不足を背景に、石油の価格も量も石油生産国(OPEC)の言うがままになっています。こうした中で、わが国はエネルギー消費の7割以上を石油に依存、まさに「油づけ」の状況です。しかも、この石油は99.8%が輸入。エネルギーの安定確保をはかり、私たちの暮らしを維持していくために、もうこれ以上石油に頼るわけにはいきません。

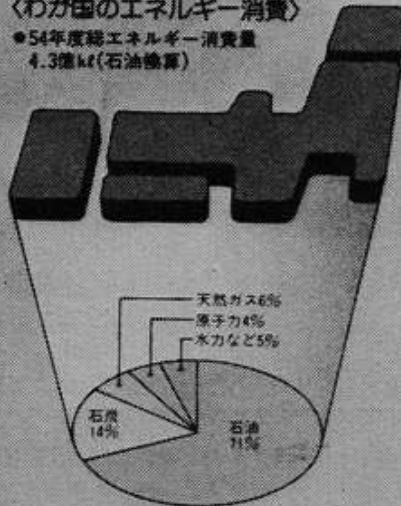
〈石油の値上がりの推移〉



なんと10年前の20倍/

〈わが国のエネルギー消費〉

●54年度総エネルギー消費量 4.3億kt(石油換算)



一方、昭和四十二年に「原発一時凍結」を宣言していた県も、将来のエネルギー問題の重要性から、五十三年に「総合エネルギー問題研究プロジェクトチーム」を組織して、五十五年二月に調査研究報告書をま

とめ、五十五年六月には、県エネルギー問題懇話会を発足させた。これは、県会議員、婦人代表など二十六人で構成され、エネルギー問題に対する県民合意づくりを目的としている。

また、五十五年十二月議会で田川知事が原発推進策として、国の責任体制の明確化など三条件の整備が必要である旨の発言を行っており、今後これらが原発推進に向けて、局面の打開につながる見通しも出てきている。

●炭火力の開発
目下のところ自治体主導で動いており、五十五年九月、度会郡南勢町が地域の振興、漁場の浄化をはかるため、国策に沿った石炭火力の誘致構想を発表した。同町では農林水産、商工等の民間諸団体の代表等を含め、「南勢町石炭火力調査研究委員会」を設置し、すでに数回の委員会や先進地の視察を実施するなど、誘致構想具体化の諸準備をすすめており、今春からは、町の調査研究委員会が基礎調査を開始し、海象、気象地質等の調査にのりだした

●原子力の推進
原子力地点は、いづれもリアス式海岸線をもつ県南部に位置し、昭和三十八年に度会郡南島町と紀勢町にまたがる芦浜地点に、また昭和四十六年には、熊野市井内浦地点に、それぞれ一〇万KW級三、四基程度を発表した。以来、今日まで長期に亘って原発論争が展開されるなかで、中部電力は、立地推進に向けて努力を傾けてきたが、地元住民の合意が得られず、両地点の立地計画は大幅に遅れている。しかし、原発の安全性や地域振興策などを調査研究するための組織などが設置され、原発に対する理解も深まってきているとみられる。

また、五十五年六月には、県エネルギー問題懇話会を発足させた。これは、県会議員、婦人代表など二十六人で構成され、エネルギー問題に対する県民合意づくりを目的としている。

である。

●LNG等ガス火力の開発

クリーンな燃料というメリットもあって、全国各地で急速に開発がすすめられているが、県内でも北勢地域の川越火力(出力七十万KW二基)、四日市火力四号機増設(出力五十六万KW)をはじめ、中勢地区の津火力など三カ所が計画されている。これらはリードタイムの長い原子力や石炭火力の開発前の供給力として、いづれも六十年代前半には、その運転開始が期待されている。

川越火力は、四日市市の北に隣接する三重郡川越町地先の埋立地に建設を計画しているもので、すでに五十二年から、環境調査が行なわれており、現在、解折調査を行なっている状況である。

四日市火力四号機も調査がすすんでおり、前述の川越火力や霞LNG基地とともに三位一体でのクリーンエネルギーの活用が考えられている。

津火力の開発計画は、昨年浮上したばかりで、地元関係者への説明と意向打診の段階であり、今後の成り

行きが注目される。

●石油火力の開発

石油火力の尾鷲三田火力三、四号機増設計画(出力五十万KW二基)は、四十四年に尾鷲市に申し入れ、同年の第五十一回電源開発調整審議会で承認されたがその後、四十六年に至って同市が公害問題を理由に増設延期を表明したことから着工できず、今日までタナあげとなっている。

同火力は、現在一、二号機(出力三十七万五千KW二基)が稼動中であり、排煙脱硫装置などの環境保全対策や温排水の有効利用などがすすめられている。

このような中部電力の努力の結果、「尾鷲市は、既設火力を主体とする環境現

状調査を三重県環境保全事業団に委託して、五十四年九月から着手し、本年三月市議会全員協議会に「おお

むね良好」との報告がされている。これに伴い市は、対応部署を設置し、市議会も対応する委員会をつくるなど増設に対する研究調査も行なわれ増設促進への機運にある。

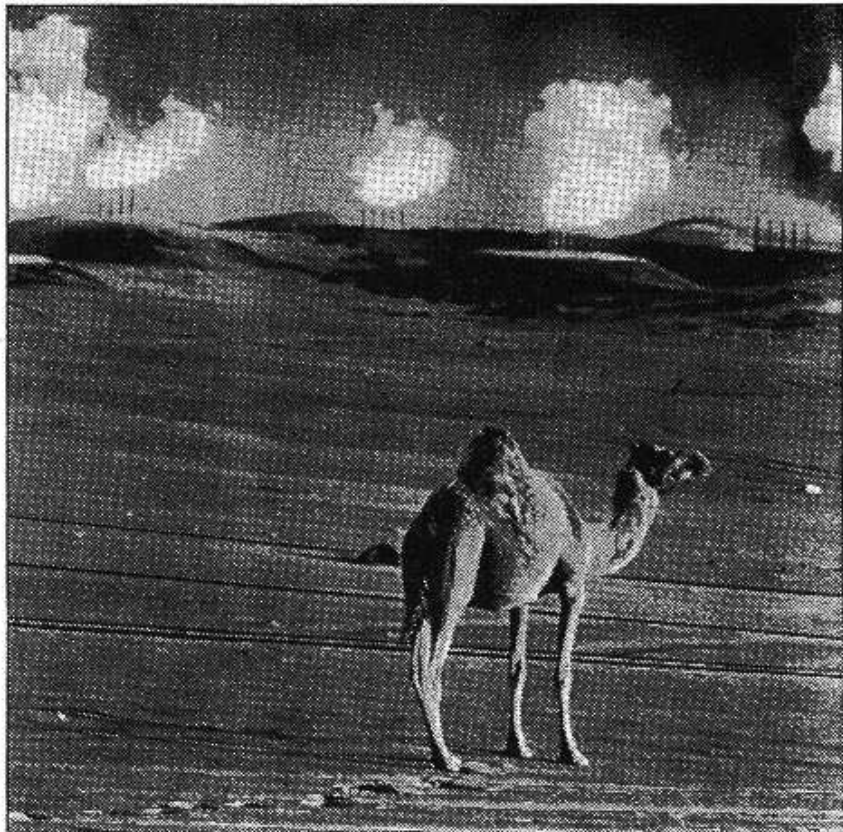
申し入れしている。

石油系火力は、IEA(国際エネルギー機関)との申し合せに基づく行政指導により、六十年以降の新規開発規制ということもあって、同火力の増設は、中部電力最後の石油火力建設となる見込みで六十年までに運転開始にこぎつけるためには、今年中に地域の同意を得る必要があるが、本年は中部電力にとって正念場の年といえる。

このように三重県下の電源開発計画は多岐に亘り、かつ、それに伴う様相も様々である。

しかし、六十年以降の電力不足に備えて発電所は是非とも必要であり、石油の半値といわれる原子力の開発、資源豊富といわれている石炭利用の開発等石油の時代からの脱却も必要である。

こういったエネルギーの動向と相まって、一兆円プロジェクトといわれる芦浜原発などが三重県の地域振興に担う役割も大いに期待したいところである。



いつかは消えます、石油の火。
限りあるエネルギー、石油。
これからは、ますます大切に使うていかなければなりません。
いま、中部電力も石油火力への依存を減らすため、原子力を中心に石炭火力の再開発、LNG火力の導入、水力の見直しなど、エネルギー源の多様化をすすめています。
脱石油、その主力は原子力です。

本部署理事会・委員会などのうごき

- ◎56・3・28 (11時~15時)
 - 各委員会予算調整
 - 常任理事会(6名出席)
 - 三重県建設産業団体連絡協議会加入について
 - 各委員会の所管事項見直しについて
 - ◎56・4・24 (13時30分~17時)
 - 慶弔規程の運用について
 - その他
 - ◎56・4・14 (13時30分~17時40分)
 - 本部事業報告
 - 協力会連合会報告
 - 各委員会所管事項変更について
 - 総代会、総会提案事項について
 - 慶弔規程の運用について
 - 登録手数料の改訂予定にの設置について
 - ◎56・6・2 (13時30分~16時30分)
 - 別項報告のとおり
 - 56年度引込内線工事請負契約について
 - 分離発注促進陳情について
 - 事故災害検討について
 - その他
- 新規加入、退会承認
- その他
- ◎56・5・20 (10時30分~15時)
 - 第十六回通常総代会
 - 第三十六回定期総会

電気工事業の登録

手数料などの改正

- ◆電気工事業の業務の適正化に関する法律に基づき手数料(同法第32条)が昭和56年6月1日付でつぎのとおり改正されました。
- 1 電気工事業の登録手数料一三、〇〇〇円(旧一一、〇〇〇円)
- 2 同 更新登録手数料六、三〇〇円(旧五、〇〇〇円)
- 3 登録証の訂正または、再交付手数料九〇〇円(旧八〇〇円)
- 4 登録簿の謄本交付手数料一五〇円(旧一二〇円)
- 5 登録簿の閲覧手数料一五〇円(旧一二〇円)
- ◆電気工事業法に基づく手数料(同法第十條)についても昭和56年6月12日付でつぎのとおり改正されました。
- 1 電気工事業士試験手数料
- 2 電気工事業士免状の交付手数料二、二〇〇円(旧一、八〇〇円)
- 3 同 再交付手数料八〇〇円(旧七〇〇円)
- 4 同 書換え手数料四〇〇円(改正なし)
- 以上のとおりそれぞれ改正されましたので今後の申請に際しては間違いないよう「三重県収入証紙」の貼付をお願いします。

56年度電気工事業士筆記試験結果発表

本年度の電気工事業士筆記試験は去る五月二十四日実施された。

- 四日市地区 六一名
 - 津 地区 三六名
 - 松阪地区 二九名
 - 尾鷲地区 一七名
 - 伊勢地区 二八名
- 計一七一名
- なお筆記試験の結果はつぎのとおり(三重県発表)
- 願書受付 一、三五四名
 - 筆記免除 二七七名
 - 対象者 一、〇七七名
 - 受験者 一、〇二九名
 - 欠席者 四八名
 - 合格者 四〇九名
 - 合格率 三九・七%
- なお、筆記試験合格者に対する技能試験は来る七月二十三日、二十四日に鈴鹿市、三重県消防学校において実施の予定である。

共同保安管理業務「契約強調年間」結果について

「四日市地区」晴れの表彰

55年度を「契約強調年間」と設定し推進したが、残念ながら二十一件の成果に終りました。しかも個人の表彰対象者はなしという状況でしたが、四日市地区においては地区役員のご努力により市役所の公共建物についての契約が第一年度として十二件実現、今後の契約化への明るいスタートとなりました。

このご努力に対し本年度

工業組合総代会席上、特に理事長から表彰状を贈り、その功績を高く賞揚されました。

なお本年度に入り桑名地区においても同様の契約化が始まるなど、従業の推進運動もようやく効果を発揮しつつあります。

今後各地区においても一層のPR活動と契約化にご努力をお願いする次第です

線結誤
シマツタでは
済まぬ
恥の口

地区だより

楽しい同好の集いで明日への英気を!!

桑名地区同好会のうごき

各地区とも年間の事業活動状況は、多少の地域差こそあれ大同小異かと思えます。

安全、技能、積算、共同保守管理業務、各講習、ならびに厚生事業として親善野球、組合旅行等々……これら恒例事業に関係なく任意の同好会が桑名地区にはあります。

景気の動行ならびに経済情勢の厳しい折ですが組合員相互の親睦を保ち、明日への英気を養う目的で実行しています。

まだまだ充実していませんがその内容を紹介します。

◎ゴルフ同好会

(会員 十三名)

回を重ねること第十四回になり、組合同好会員と中部電力同好会がタイアップして会名も「志ぐれ会」と称しコンペを行って和気藹々のうちにコースを廻って親交を深めております。

メンバーはビジターからシングルプレーヤーまで多士済々といったところ、コースも桑名国際、亀山CC、藤原グレートCC等世話役によって変わります。スコアーより健康にいいですね……

◎釣同好会

(会員十一名)



今年もシーズン到来、会員の中には個々に何度か、川釣、海釣、ルアーフィッシング等々結構出向いているらしいですが、同好会で昨夏は浜島へ一泊で出勤、当日の獲物は別として、前夜祭がかなり賑わったようです。

今年には知多方面でもどうでしょうか……

◎研修・視察同好会

(会員 十六名)

会名は厳めしいですが、平たくいえば海外視察旅行です。

同好グループ的で、リベラルなところがいいですね……

これまで東南アジア地区が主でしたが事情が許せばハワイ、ヨーロッパを企画して居るそうです。ぜひ共実現を期待します。

以上桑名地区の同好会を紹介しましたが、他地区のみなさんも仕事を離れて実行されては如何……

桑名地区

森下 幸



松阪支部だより

四月十七日

五十六年度上期安全推進会議開催

本年度基本方針

「危険を予知し災害を絶滅しよう」を基調目標として安全作業の反復指導を徹底して行うとともに災害に対する原因の究明と再発防止

対策の周知徹底を通じ安全に関する基本動作の定着化と危険予知能力の育成強化を計り年間「目標災害ゼロ」をめざす。また公衆災害ならびに交通災害防止のための諸策を積極的に推進する。

重点実施目標

- 1、作業災害の防止
 - 2、交通災害の防止
 - 3、公衆災害の防止
- 右の各項目実施計画について協議した。

◎電気工事士筆記試験準備講習会

五十六年度電気工事士講習会を五月七日から同月二十

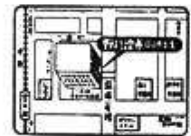
財産づくりは「野村」



3年→8.3%利回り
第22回3年満期国債
申込単位5万円円り
只今受付中

野村証券

四日市支店
四日市市南陽町1番14号
(成東四日市駅前・国債ビル)
電話 四日市 (0593) 53-2141(代)



一日までの十一日間開催した。

受講者 二十九名

特に本年度は尾鷲地区での受験希望者も多く同地区でも五月十一日から同二十三日まで開催した。

受講者 十七名

(電気保安功勞)

鈴鹿地区 榑三扇電気

中西忠太郎氏

鈴鹿地区 扇立電気

の誤りでした。

◎4P中段の理事会出欠状況表のうち

「お詫び」と訂正

会報三月号第十八号記事
中左記のとおり誤りがありましたので謹しんでお詫び申しあげますとともに訂正いたします。

55・11・26

(名古屋通商産業局長表

- 1/15 水谷一九二 ×は
- 1/12 渡辺常定 ○は
- 1/12 水谷一九二 ×代は
- に

の誤りでしたので訂正をお願い申し上げます。



富田地区・事務所移転

記念行事など盛大に開催

56・5・22、富田地区事務所を下記住所に移転したが、これを記念して全会員が出席、今後ますますの発展を誓い、合うと共に、三重東芝電設機などと協賛し、記念特別展示即売会を盛大に開き、約一〇〇名の参加があった。

当日は地区内の会員、従業員の殆んどが参加され、新事務所を拠点として、今後地区内会員の結束を強化するとともに、業界発展への意識向上に一層の効果が有り、好評を得た。



新事務所の住所は
四日市市曙台二丁目一
一〇〇
(電話) 〇五九三―六四
―六七〇―

広報委員会よりお願い

創立記念特集号編集にご協力を!!

本年度総会でもご承認されたとおり、10月頃、協力会35周年、工業組合15周年の記念大会を実施する予定であります。

創立以来の輝かしい足跡をたづね、更に次代への飛躍を願って記念特集号の編集を予定しております。

本部でも鋭意資料集取に努めておりますが、残念ながら一部散逸しているものもあり、会員みなさんの資料、思い出、記録写真、地区の活躍状況の歴史、工具、工事方法の移

り変わり、楽しい思い出の行事、苦しかったこと、等々……何んでも結構です。からぜひご投稿賜わり、会員全部で作成された特集号として記念事業を推進したいと思っております。

したがって次号は定例であれば9月発行ですが、本年に限り10月発行を予定しておりますので、ご了承下さい。

なお編集作業の関係上、投稿締切は、56年9月10日、本部必着とします。

National

入線作業を一新!
ハンディタイプで、ラクラク入線
ナショナル 電動入線機

新発売



松下電器産業株式会社
中部設備機器営業所三重出張所
四日市市曙町四番五号(住友生命四日市ビル)
TEL 〇五九三―五一一〇五六三